

旧出雲エネルギーセンター跡地の利活用に係る サウンディング型市場調査の実施について

1 調査の名称

旧出雲エネルギーセンター跡地の利活用に係るサウンディング型市場調査

※サウンディング型市場調査（以下、「サウンディング」という。）とは、用途廃止した施設等の活用方法や整備手法、公募条件等について、民間事業者から広く意見及び提案を求め、直接の対話により市場性等を調査するものです。

2 調査の対象

【土地】

所 在 地	出雲市芦渡町 2383 番地 1 ほか
面 積	約 24,100 m ² (①17,300 m ² ②6,800 m ²)
現 況 地 目	宅地ほか

【付帯設備】

給 水 施 設	給水口径 φ 150 mm、給水ポンプ施設
---------	-----------------------

3 調査の目的等

(1) 調査の目的

旧出雲エネルギーセンターの解体工事は、既に完了していますが、跡地の利活用については、決定していない状況です。

本調査は、民間活力の積極的な活用を念頭に、公募による民間譲渡に向け、民間事業者との“対話”を通じて、地域活性化につながる当該土地の活用や購入の意向、活用にあたっての課題に関する意見やアイデアを収集することを目的として実施するものです。

(2) 期待される効果

- ① 当該土地の状況や課題を提示して“対話”をすることで、課題の解決に向け、民間事業者のノウハウを生かした利活用案の検討が可能になること。
- ② 民間事業者側は、土地の利活用に向けた市の方針や考え方を事前に把握できるほか、自らの考え方を直接市へ伝えることができること。
- ③ 市側は、利活用の実現可能性や市場が参入しやすい条件、アイデアなどが把握できること。

4 サウンディングでの主な対話内容

- (1) 土地の利活用策（地域の活性化、雇用創出、周辺環境との調和等）
- (2) 土地の利活用の手法
- (3) 利活用における課題とその解決策
- (4) 公募及び利活用にあたっての条件

5 今後のスケジュール

令和7年 9月	サウンディング募集開始、現地説明会の開催
10月	参加申込受付 ※現地説明会開催後、随時受付
11月	事業者との意見交換
12月	サウンディング実施結果の公表

6 過去の検討結果

令和3年度に建物土地の利活用について提案募集を行いました、実現性のある活用策の提案はありませんでした。

7 位置図

